



バス作りは、左官職人の現公民館長 春田範雄さんと大工職人の田畑康雄さんの2名が中心となり、基礎工事から始まりました。全体の設計は田畑さんが担当。骨組みの上から左官職人の春田さんがコンクリートで塗装、組み立ては皆さん全員で。それぞれが得意分野で協力し合い立派なバス停は作られました。

籠谷集落は昔から、地域を大事にし、地域に寄り添い、相互に協力し合うことを続けてきました。だからこそ、今回のバス作りも集落全員で取り組めたのかもしれない。

「若いころは都会も経験したけど、やっぱり、かごたんが好きです」と百花さんの祖父、村山鉄郎さんは話します。

人も減り子どもも減ったけれど、やることは変わらない。地域の宝である子どもを見守り、絆を大切にします。

そんな優しい集落がそこにはありました。

Interview 村山さんご家族



宏規さん 百花さん 志織さん

集落の皆さんが娘のために、このような立派なバス停を作ってくれて、本当に感謝しています。このバス停から元気に登下校してほしいと思います。



▶真新しい制服でバスに乗る百花さん。手作りバス停から中学校生活が始まりました。

